

情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会
気象レーダー作業班
第11回 X帯サブ・ワーキング・グループ
議事概要(案)

1 日時

令和2年11月26日(木) 16:30~17:45

2 場所

WEB会議による開催

3 出席者(敬称略)

リ ー ダ ー:牛尾 知雄

構 成 員:増田有俊(代理)、猪上 華子、川辺 俊和、石井 陽子(代理)、
手柴 充博、花土 弘、羽田 利博、廣瀬 孝睦、前坂 剛、和田 将一

オブザーバー:中澤 進(代理)、田島 慶一、岩崎 聡明、横畑 和典

事務局(総務省):岡田第一マイクロ通信係長、木村官

4 配布資料

気レX 11-1 第10回 X帯サブ・ワーキング・グループ議事概要(案)

気レX 11-2 沿岸監視レーダーと気象レーダーの相互干渉試験報告

気レX 11-3 汎用型気象レーダー性能評価および沿岸監視レーダーとの共用について

気レX 11-4 CSとの共用条件の整理

気レX 11-5 スプリアス発射及び不要発射の強度の許容値

気レX 11-6 副次的に発する電波等の限度

気レX 11-7 汎用型気象レーダーにおける9.4GHz帯と9.7GHz帯の区分け

気レX 11-8 今後のスケジュールについて

気レX参11-1 X帯サブ・ワーキング・グループ構成員名簿

5 議事概要

(1) 開会

(2) 議事

① 沿岸監視レーダーと気象レーダーの相互干渉試験報告

古野電気(株)より資料「気レX 11-2」に基づき説明が行われた。また、その後の質疑等において、偏波のパラメータで見た場合でも干渉の影響は見られることが確認された。

② 汎用型気象レーダー性能評価および沿岸監視レーダーとの共用について

(株)ウェザーニューズより資料「気レX 11-3」に基づき説明が行われた。また、その後の質疑等において、干渉除去機能の確認方法(p.11)に関し、降雨時の干渉につい

ては、雨による受信電力の真値がわからないため、定量的な評価は困難ではないかとの意見があり、降雨時の数値は参考にとどめ、晴天時での評価が望ましいことが確認された。

③ GS との共用条件の整理

東芝(株)より資料「気レX 11-4」に基づき説明が行われた。特段、質問等はなかった。

④ スプリアス発射及び不要発射の強度の許容値

事務局より資料「気レX 11-5」に基づき説明が行われた。また、その後の質疑等において、本制度改正については、令和3年6月予定の一部答申後に関連規定の改正を行うこと及び新基準はその施行日以降に製造されるレーダーに適用される想定であることが確認された。

⑤ 受信設備が副次的に発する電波等の限度

日本無線(株)より資料「気レX 11-6」に基づき説明が行われた。特段、質問等はなかった。

⑥ 汎用型気象レーダーにおける9.4GHz帯と9.7GHz帯の区分け

事務局より資料「気レX 11-7」に基づき説明が行われた。その後の質疑等において、データ提供の有償・無償については特段規定していないことが確認された。また、前回資料からの変更点は「一の都道府県に網羅的に設置するもの」が設置条件として追加されたことが確認された。p.3及びp.4に記載の「設置時期や広域な場所等に計画的に設置する予定であること」の記載意味が分かりにくいとの指摘があり、「具体的な設置時期及び広域な場所等に設置する計画を有していること」に修正する旨事務局が回答した。

⑦ 今後のスケジュールについて

事務局より資料「気レX 11-8」に基づき、今後の予定について説明が行われた。

(5) 閉会